

2008年1月1日

# 五省会ニュース

ご せい かい

NO.163

医療法人財団五省会

医療法人 西能病院

西能みなみ病院

介護老人保健施設 みどり苑

発行人 西能 竝



飛翔

撮影 織田博史

## 新年を迎えて

あけましておめでとございませう。  
日本は、政治経済の迷走の中で新しい年を迎えました。

昨年は医療現場の混乱が一段と深まり、医師不足、看護師不足が全国で深刻な事態を招いております。財政優先を金科玉条のごとく押し進めた結果、介護保険においても、民間企業の大規模な不正が表面化しました。政策の「見切り発車」で国民のための医療や介護が荒廃していく現状を憂いながら、国の新年度予算や4月の診療報酬改定の行方を注視しているところです。

こうした難局を乗り越えるべく五省会では、各施設が懸命の取り組みを重ねています。西能病院では昨年6月より回復期リハビリ病棟が稼働、手術症例数も増加し、整形外科の急性期機能が強化されました。開設2年目の西能みなみ病院は、療養病床への逆風の中、地域に貢献できる病院へと前進しております。また、老健のみどり苑では通所リハビリ事業が活況を呈し、高齢化社会で着実な役割を担っております。この場を借りまして、関係各位のご支援ならびに職員諸君の努力に感謝を申し上げます。

年頭にあたり、平成20年度の医療法人財団五省会の目標を記します。

- 1 西能病院新築計画の着手
- 2 組織体系と経営基盤の強化
- 3 医療安全と法令遵守の徹底
- 4 リハビリテーションの更なる充実
- 5 職員教育および研修の推進

来たる一年への決意を新たにし、ご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いたします。

医療法人財団五省会  
理事長 西能 竝

# 健康 セミナー 33



## 認知症があっても 笑顔で暮らせるように

認知症の人と家族の会  
富山県支部

勝田登志子



「認知症の人と家族の会」の会の名前が、「ぼくれ・ぼくれ」といいます。この言葉はスワヒリ語で「ゆっくり やさしく おだやかに」という意味です。家族や介護をする私たちの基本姿勢だと思っています。「ゆっくり」「やさしく」「おだやかに」。

### ● 超高齢社会に生きる

認知症は誰でもかかる病気です。富山県には2万5千から2万6千人、全国では170万人の認知症の患者さんがおられますが、10年後には300万人になるだろうといわれて

います。

今から25年前に私たちの会ができました。この頃は、「ボケ」とか「痴呆」とかいつて、恥ずかしいことだと思われていました。しかし、私たちの会では病気でも笑顔で暮らせるようにと、「本人も家族も主人公」という活動をしてきました。また、介護家族同士が親や配偶者の認知症について悩みや苦しさを語り合うなかで、悩んでいるのは自分だけではないと知り、グチを集めて声にし、その声を社会に伝えてきました。

同時にいろいろな知恵やノウハウ

ウを分かちあい、行政に支援を求めたり、社会的な理解を進める活動も行ってきました。その結果、今日ようやく頭痛や腹痛と同じような病気だといわれるようになりました。いろいろな薬が開発中ですから、将来的には、もつと症状を軽く、そして進行しないように過ごせるようになるかもしれません。

### ● 認知症早期発見のめやす

介護家族が経験から考えた、認知症の早期発見のめやすです。

①もの忘れがひどい―今切った電話の相手の名前を忘れたり、同じことを何度も言う・問う・するようになります。また、しまい忘れ、置き忘れが増えて、いつも探し物をしていくようになります。ときに、財布や通帳、衣類などが盗まれたと人を疑うようになります。このとき、犯人扱いされるのは、たいがい一番身近でお世話している人、安心して自分の不安な気持ちを伝えられる人です。言われたら、信頼されている証拠、勲章だと思ってください。

②判断・理解力が衰える―料理、片付け、計算、運転などのミスが多くなり、新しいことが覚えられ

なくなります。また、話のつじつまが合わなくなり、テレビ番組の内容が理解できなくなったりします。

③時間や場所がわからない―約束の時間や場所を間違えるようになり、ときには慣れた道でも迷うようになります。

④人柄が変わる―ささいなことで怒ったり、周囲の人への気遣いがなくなくなり、頑固になります。また、自分の失敗を人のせいにして、周囲の人から「このごろ様子がおかしい」といわれることもあります。

⑤不安感が強い―一人になると怖がったりさびしがったりし、外出時には、持ち物を何度も確かめ、



「頭が変になった」と本人自身が訴えます。

⑥意欲がなくなる→下着を着替えず、身だしなみにかまわなくなり、趣味や好きなテレビ番組にも関心を示さなくなります。また、ふさぎこんでなにをするのも億劫になるようです。

●認知症の薬は「ややつれ」

認知症になると、新しいことが覚えられず、全体を忘れれます。記憶は現在に近いところから失われるので、昔のことはよく覚えているのについ先ほどのことを忘れるようになります。認知症には他にも様々な症状がありますが、それらを理解して、上手に対応しましょう。病気ですから、無理やり行動や態度を治そうとしてもうまくいかず、お互いにストレスばかりが高くなります。むしろ、「認知症の人の思いに沿う」ことが大切です。

現在、「家族の会」では5年後には100万人のサポーターをつくらうと「認知症キャンペーン」を行っています。10年後には気軽に認知症のことが話し合えるような地域づくりをしようと努めています。なぜなら、家族だけの看護力では

高齢者を支えることはできません。医療、年金福祉制度によって社会全体で支えなければうまくいきませんし、地域の人たちの協力も大切です。また、私たち自身が社会保障制度に関心を持つことも必要です。

近年、「認知症にならない」予防が重視されていますが、なにより「認知症になっても大丈夫！」といえる社会づくりが大切です。

◆ 家族の会電話相談

毎日夜間相談（含：若年相談）  
月・木曜日（介護経験者）  
（午後1時から3時半）  
本部フリーダイヤル電話相談  
（月～金・10時から15時）

☎076-441-8998

☎076-441-0541

☎0120-294-456

◆ 認知症の人と家族のつどい

毎月開催

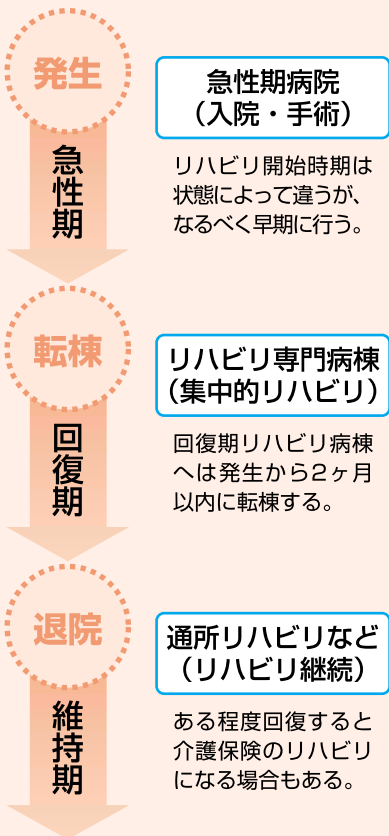
◆ 若年認知症の人と家族のつどい「てるてるぼうずの会」

毎週土曜日

◆ つどいなどについてのお問合せ

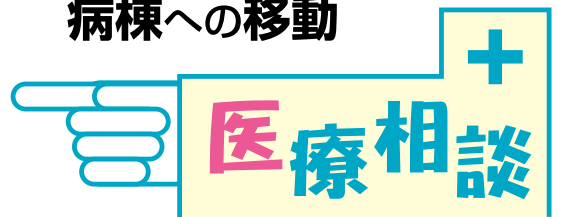
☎076-441-8998

リハビリと転院の流れ



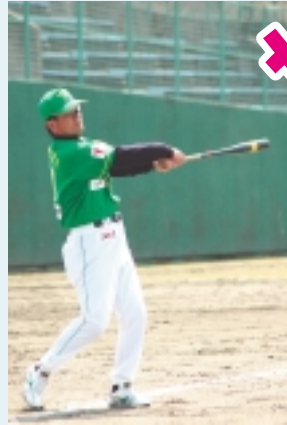
大腿骨頸部骨折で入院し、手術を受けました。状態が落ち着いてきたところで回復期リハビリ病棟へ移るよう勧められました。が、どうしてですか。

回復期リハビリ病棟への移動



現在、国は患者様の状態に応じた病院や施設の役割分担を進めています。「急性期」は治療と早期のリハビリを行い、続く「回復期」は生活機能の回復に重点を置いたりリハビリを行います。両者の機能は異なるので、国からの医療費も異なり、病院はこの流れにそった治療計画を立てることになります。病院によっては急性期を終えた14日前後で転院を促され、患者様の負担も大きいようです。そのため西能病院では、3階を急性期病棟、2階を回復期リハビリ病棟とし、病棟間の移動で対応できるようにしております。どうぞご理解ください。なお、回復期を過ぎた「維持期」では外来リハ、もしくは介護施設への入所や通所リハビリ（みどり苑など）に移ります。

研究発表会終了後、特別講演会が開催されました



## やらんまいけ! キトキト野球

富山サンダーバースB.C.監督  
鈴木 康友さん

1959年生まれ。奈良県天理高校出身。  
選手、コーチとしてプロ野球で活躍、  
2007年サンダーバース監督に就任。

2007年春、富山に北信越B.C.リーグに属する「富山サンダーバース」が誕生した。監督として全国から集まった選手たちを率いて戦ったが、残念ながら優勝を逃した。来年は必ず!と、作戦を練っているところだ。

プロ野球の世界に選手として15年間いたが、補欠としてベンチにいたことが多かったので、選手だけでなく監督の気持ちもよくわかる。それが自分の強みだ。

感慨深かったことがいくつかあるが、そのひとつを紹介したい。いろんな選手がいるが、バッティングはいいが守備がまずい選手もいる。エラーをした試合後特訓をしていたら、他の選手は知らん顔して片づけをしていた。僕は「エラーはしたが、前半は打ってくれた。お前ら冷たいだろう。痛みは分け合うものだ」と怒った。すると、みんなが「負けるな!」と声を掛けはじめ、チームはひとつになった。今季の最終試合、そいつがホームランを打って逆転サヨナラ勝ちした。自分は思わず、万歳をしていた。監督、コーチ、選手それぞれが役割と責任を引き受けるチームワークが大切なんだ。山本五十六の言葉にあるように、監督として見本を示し、選手を理解し、ほめて育てようと、努めている。

来シーズンこそはリーグの頂点に立ち、県民の皆さんに感動を与えたい。だから皆さんには是非球場に足を運んでもらいたい。球団が元気なら地域も元気になれる。僕は富山を元気にするためにやってきたのだから…。



# 医療法人財団五省会第19回研究発表会

## 信頼の医療・介護をめざし「研究成果」を発表



西能理事長による開会の挨拶に続き、プロジェクターを使用して14演題が次々と発表された。

12月16日、ポルファートとやまにおいて、西能病院、西能みなみ病院、みどり苑の五省会3施設による合同研究発表会が開催され、計14演題の発表が行われました。当日は、医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフなど、職員165名が参加しました。

安全で質の高い医療・介護をめざし、各施設では、日頃からさまざまなテーマを見つけて研究活動に取り組んでいます。研究は、業務の中での疑問や課題を設定し、アンケートや統計調査を行い、その結果に考察を加え、改善策を提案するという手順が進められます。優秀と認められた研究には、次のステップとして全国学会での発表のチャンスが与えられます。発表後は活発な質疑応答も行われ、緊張と熱気に満ちた一日となりました。

### ● 下肢術後患者における

荷重量に関する実態調査  
西能病院リハビリテーション科 高柳真理子  
近年、退院の早期化を背景に、大腿骨

頸部骨折や下肢人工関節手術の患者に対し、かなり早期に全荷重が許可される傾向が強い。そこで実際に患者がどれだけの荷重を行っているかを調査し、全荷重可能となる時期や影響を与える要因について考察した。調査期間は11ヶ月間、対象者は当院で下肢手術を行い、認知症を有していない患者38名(平均年齢73歳)で、荷重量、踏み込み筋力、歩行速度等を全荷重許可日から一週間ごとに計測した。

### ● 医療療養型病棟における介護職の役割

西能みなみ病院2階看護部 岡本節子  
介護職として患者様の入院生活の質の向上につながる働きかけができないか、との思いから、スウェーデンの「タクティールケア」にならったタクティールケアを実践し、効果を考察した。タクティールケアとは、認知症高齢者の緩和ケ

### 演題および発表者 (全14題)

区分	座長	施設部署名	演題	発表者
第一群	西能病院 三原副部長	西能病院 事務課医事課	学区別に見た西能病院の外来患者分布	医事副主任 袴谷 豊
		西能病院 看護部整形外来	整形外来における待ち時間の問い合わせとその対応の現状	看護師 泉 朱子
		西能病院 呼吸リハビリ科	下肢術後患者における荷重量に関する実態調査	理学療法士 高柳 真理子
		西能病院 看護部3病棟	高齢患者の手術前にいざい	看護師 駒沢 みどり
		西能病院 診療部放射線科	術中イメージの使用状況	放射線技師 柴谷 真人
		西能病院 看護部2病棟	薬剤が転倒・転落に及ぼす影響	看護師 濱多 尚美
第二群	西能みなみ病院 川幡主任	五省会 経営企画室	平均在院日数の短縮による影響と戦略～療養病床における平均在院日数の重要性～	総務課課長 津田 貴洋
		みどり苑 通所リハビリ	デイケア卒業を目指して～運動機能向上を中心とした介護予防サービスの提供～	介護職員 無藤 久浩
		西能みなみ病院 看護部2病棟	医療療養型病棟における介護職の役割～タクティールケアにならって～	介護福祉士 岡本 節子
		西能みなみ病院 看護部2病棟	療養型病棟における家族とのかかわり	看護主任 早瀬 とし子
		みどり苑 NST委員会	高齢者の摂食量低下の要因とその支援の在り方についての検討	介護副主任 水野 貴久子
		西能みなみ病院 看護部3病棟	ケアからはじまる排便コントロール～胃腸造設患者の排便の変化～	准看護師 中川 有紀子
		みどり苑 認知症専門棟	認知症高齢者の園芸活動～花に触れる3ヶ月間の生活～	介護福祉士 車谷 佐也香

アとして始まったもので、患者様に優しく手で触れることで痛みや不安を和らげる手法である。国内でも認定は得られないが、今回は試験的導入とし、ご本人とご家族の了承を得た9名を対象に1ヵ月間週2回のペースで実施した。

調査期間が短く、データ上は睡眠や排泄の状態に顕著な効果は認められなかったが、6名から好意的な感想が得られ、「ありがとう」という言葉や笑顔をいただいた。今後、手技の向上をはかり、継続的に実施することで、入眠時の安定や不穏行動の改善に一定の効果が得られるのではと期待される。

### ● 在宅復帰に向けての支援

みどり苑一般棟 棚橋真由美  
老健施設の役割は自立支援と在宅復帰にあるが、実際にはなかなか自宅に帰れない利用者も多い。その要因を考察し、在宅復帰につながるため、入所者とご家族への意識調査を行った。入所者の内、自宅に帰りたいと答えた方は55%だったが、やはり復帰後の家族の負担を気にしている傾向が見られた。一方、ご家族は、設備の不備や介護者の不在、問題行動などを理由に、ほぼ全員が入所継続を望んでいる。このギャップの解決策として、在宅復帰と再入所を繰り返して在宅に慣れていた「往復型」の提案により、在宅が可能になった事例があった。この事例を参考に、今後はご家族とのコミュニケーションを重視し、総合的な在宅復帰支援を行うことが重要と考える。

患者様やご家族からのご提案・ご要望について、各部門の責任者が回答いたします。

第一回は、西能病院のご意見箱に寄せられた四つの投書にお答えします。

### スムーズな診療を

スタッフの対応はすばやいのですが、非常に混雑しているのでもう少しスムーズに診療できるといいのではないでしょうか。

外来診療の混雑につきましては、日頃より大変ご迷惑をおかけしております。他院では混雑緩和のため予約制を導入している例もありますが、当院の外来患者総数を考慮すると、すべての患者様に予約制で診療を提供することは困難と思われまます。引き続き効率的な対応を心掛けますので、何とぞ皆様のご理解をお願い申し上げます。

(病院長 西能 竝)

### インターホンをつけました

シャワー室は新しく快適なのですが、内から外に連絡したいときにできなくて不安です。

ご指摘を受けて、ナースセンターに通じるインターホンを各個室内に設置いたしました。



(看護部長 境美代子)

### 清潔な施設を

リハビリ待合室のソファの壁（後頭部の当たる位置）に整髪料のようなものが付き、汚れています。ソファのシートもところどころ破れています。

おそらく

何らかの塗料が付着したようです。通常の清掃では粘り気を除去できなかつたため、壁全体をペンキで塗り直しました。また、ソファも新しく外皮を張り替えました。



### 自販機の設置

他の患者さんや見舞いに来られた人の意見も総合して、ぜひ3階にも自販機を設置してもらいたい。足の不自由な方は2階まで買いに行くのが大変です。

ご指摘を受けて、3階デイルームに自動販売機を1台増設いたしました。また、商品構成のご要望等がございましたらお申し付けください。(事務部長 金岡一之)

## ぽればれ

くゆっくり・おだやかに

ちょっと元気になる話

入院患者さん（西能病院）  
市江洋子さん（75歳）



ドクターの 柔和な瞳 秋日和  
萩の咲き 手術受くる日 決まりたり

夕虹や 入院仕度は 整ひて

この三句は、昨年十月に人工股関節置換術を受けた市江洋子さんが、手術を目前に詠まれた作品。富山俳句同好会のこの月の賞を受けられた。不安も大きかったが、医師を信頼して治療する決意を固め、再び人生を楽しもうという希望が垣間見えるという。

市江さんが股関節にギシギシといった痛みを感じて初めて診察を受けられたのは、六、七年前のこと。西能院長から「日常生活に支障があるようになったら手術です

ね」と言われた。二年ほど前から少しずつ痛みがひどくなり、「手術すると、楽になるよ」と言われた。それからは「手術」の二文字が頭から離れなくなった。

そんなある日、西能病院健康教室「人工膝関節と人工股関節 市村和徳」と書いてあるポスターに気づき、参加した。話の内容はわかりやすく、手術のリスクについても説明された。患者様の都合に合わせて日程を決めますという一言に、この先生なら信頼できると感じ、納得して手術に臨むことができたという。

回復期リハビリ病棟に移ってからは、理学療法士から、退院後の生活の注意や役立つ話などを聞きながらマッサージュしてもらったのも、うれしく、カづけられた。

術後二ヶ月では元通りに回復とはいかないが、暖かくなったらずいぶん楽になるだろうと、市江さんは春になるのを心待ちにしている。

ゴルフの王様

西能病院事務部長 金岡一之



昨年9月、北日本新聞主催のゴルフ大会が富山CCで開催され、五省会代表として参加しました。清んだ秋空の下、コンディションも良好、久々の好スコアで7位入賞という結果を持ち帰ることができました。北日本新聞とはなぜか相性がよく、社長杯で昭和52年、53年と連続2回の優勝に恵まれ、新聞に載ったこともありました。

ゴルフとの出会いは、昭和47年の春、義弟に「これほど面白いスポーツはないよ」と勧められたことが始まりでした。当時、ゴルフはまだマイナースポーツで、街ではボウリング場の前に若者が長蛇の列をなしていました。

その頃の私は胃下垂で体重51キロとやせ細り、季節の変わり目にはアレルギー性鼻炎に悩まされるのが常でした。感冒薬のダンやシノミンを注射して一時的に症状を

抑えるものの、机の上にはすぐ鼻紙の山ができる始末。そんな私を見かねてか、ゴルフで体を鍛えたらと妻も後押ししてくれました。

上野のアメ横で買ったクラブが届くと、さっそくゴルフ練習場のスクールに入会しました。雨の日も風の日も安物のクラブをブンブン振り回し続け、やがて2年が過ぎた頃でした。冬は厚手の下着を重ね着し、就寝時は湯たんぽがないと眠れなかった私が、ある日ウソのように、冷たい畳の感触を心地よく感じるようになっていたのです。それとともに病弱だった体質が劇的に改善し、鼻紙の山もお別れすることができました。

家庭にも犠牲を強いた高い買い物でしたが、青い空と緑の芝の中で白い球を追いかけるゴルフは、今日に至るまで人生を健康に過ごす活力を与えてくれています。



(上段) 写真は北日本新聞社杯争奪ゴルフ大会で優勝したときのもの(昭和52年)

ハートフル・ケア

**楽らく介護**

その10

**車椅子③**

車椅子を使用する場合、まずベッド等から車椅子に移ること(移乗)ができなくてはなりません。この方法が適さない方もありますが、一般的な移乗方法を説明します。

まずは、車椅子のブレーキがかかっているか、フットレストが上がつているかを必ず確認しましょう。車椅子はベッドに対

し20〜30度の角度で近付けておきます。

部分的な介助が必要な場合、アームレストを持って体を支えながら、なるべく自力で立ち上がり、介助者は腕や腰に手を添えて体が回転するのを支え、座るのを見守ります。(図1)

全介助の場合は、介助者が相手の腰を抱えて持ち上げて立ち上がり、介助者自身がゆっくり回転して膝を落としながら座らせます。この時車椅子のアームレストが取り外せるタイプのものであれば、ベッド側を外しておきます。座った後は椅子に深く座っているか確認します。(図2)

これらの動きは大変難しく練習が必要です。リハビリや看護・介護の専門家にアドバイスをもらい、無理なく介助をするようにしましょう。

(支援相談員 長嶋千尋)



診療科	平日診療(月～金)						休日診療(土・日・祝)			
	時間	月	火	水	木	金	時間	土	日・祝	
整形外科	午前 (8:30～12:00)	西能 市村 信清 市村 和徳 正典	根塚 武 (9:00～) 橋口 津堂 隆彦	西能 辻 陽雄 (9:00～) 仲井間 憲成 川口 善治	西能 根塚 武	西能 辻 陽雄 (9:00～) 仲井間 憲成 川口 善治	西能 松下 功 信清 正典 (10:30まで)	午前 (8:30～12:00)	市村 和徳 信清 堂後 隆彦	交替制
	午後 (4:00～7:00)	西能 堂後 隆彦	市村 和徳	橋口 津堂 功	根塚 武 橋口 津堂 隆彦 ●スポーツ整形も行います	信清 正典 川口 善治 (5:30まで)		午後 (1:30～5:00)	市村 和徳 根塚 武 橋口 津	交替制 ●スポーツ整形も行います
内科	午前 (8:30～12:00)	川上 恭右 (一般・消化器) 森田 弘之 (一般・消化器)	森田 弘之 (一般・消化器)	森田 弘之 (一般・消化器)	川上 恭右 (一般・消化器)	森田 弘之 (一般・消化器)	午前 (8:30～12:00)	中山 康弘 (一般・消化器) 吉田 光宏 (神経内科・9:00～隔週)	休診	
	午後 (3:00～5:00)	川上 恭右 (一般・消化器)	松井 祥子 (一般・呼吸器)	森田 弘之 (一般・消化器)	川上 恭右 (一般・消化器)	森田 弘之 (一般・消化器)	午後 (1:30～5:00)	休診	休診	
眼科	午前			柚木 達也		圖師 眞弓				
麻酔科	午前 (8:30～12:00)				増田 明 (顔面・眼瞼痙攣 外来一予約制)				都合により担当医が変更になる場合があります。ご了承ください。	
リハビリテーション科		午前8:30～12:00 午後4:00～7:00						午前8:30～12:00 午後1:30～5:00		

午前9:00～12:30	月	火	水	木	金	土	日
内科	石原 元	森本 茂人	石原 元	石原 元	石原 元	石神慶一郎(第1・3・5) 森本 茂人(第2・4)	休診
リハビリテーション科	浅野 裕	浅野 裕	浅野 裕	浅野 裕	休診	浅野 裕	休診

- 入所サービス
- ショートステイ
- デイケア(通所リハビリテーション)
- 居宅介護支援事業所

ボランティア募集 月・火・木・金の午前・午後  
入浴後のドライヤーかけ/利用者様の活動サポート/話相手

## お知らせ

■五省会ニュースの発行を年4回に  
五省会ニュースは、従来年6回の隔月発行でしたが、本年より内容の充実を目指して、年4回(1・4・7・10月)の発行に変更させていただきます。このニュースを通じて、五省会各施設のさまざまな取り組みや、医療・介護等の情報をお届けし、上手に病院や施設を利用させていただきたいと願っております。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

■西能病院外来休診日のご案内  
西能病院の外来休診日は1月1日(元旦)、3月21日(春分の日)、8月

15日(お盆)となっています。詳細な診療日程につきましては、外来掲示板・医師の休診案内等をご覧ください。

### ■みどり苑文化祭開催

11月3日、みどり苑文化祭が開催され、作品展や模擬店などがにぎわいました。また、勝田登志子氏の講演に続いて、ちどり会による民謡も催され、利用者の皆様は秋の一日をご家族とともに楽しめました。



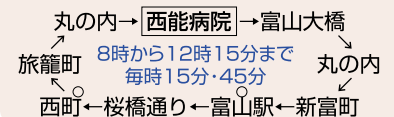
## 西能病院通院バス

月曜～土曜 午前運行(日曜、祝日は休み)

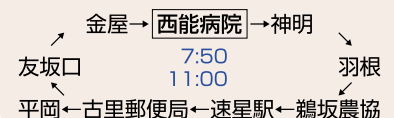
○印は常時停留所、その他は臨時停車します。

★詳細は受付でおたずねください

### ①富山駅・西町コース



### ②婦中・長沢・金屋方面



### ③呉羽・中老田・北代・田川屋方面

